

第94回埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳末梢科学研究センター

ケミカルバイオロジーと分子ツール ～蛍光プローブを中心に～ Molecular Tools in Chemical Biology -Fluorescence Probes and Others

寺井 琢也 先生

(Takuya Terai)

埼玉大学工学部機能材料工学科 生体高分子グループ
日本学術振興会特別研究員(SPD) 博士(薬学)

日時：2018年 11月 26日 (月) 16:00 ~ 17:30

場所：理学部3号館 2F 11番 教室

生命現象を化学に基づき分子レベルで明らかにし、人類の発展に役立てるための研究分野はケミカルバイオロジーと呼ばれ、21世紀の化学研究の大きな柱の一つとなっています。こうした研究を行うためには、特定の生体分子を選択的に検出・操作する化学的技術(=分子ツール)の創成が不可欠です。例えば、生体組織を破壊することなく生きたままの状態での分析するための道具として、有機分子や蛍光タンパク質を基盤とする「蛍光センサー」があります。本セミナーにおいては、私が長年取り組んできた「低分子を基盤とする蛍光センサー」について、その基本的な概念や設計戦略から具体例に至るまでを紹介いたします。またその他の分子ツールとして、生化学分野で汎用されるストレプトアビジンに結合する新規リガンドの探索についてもお話します。時間が許せば、最近取り組んでいるペプチド進化分子工学研究についても簡単にご紹介したいと思います。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。<http://subsi.saitama-u.ac.jp/>

問合せ：理工学研究科 物質科学部門 機能材料工学コース
根本直人 内線4617